

『ふくしゅうさん』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『ふくしゅうさん』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『ふくしゅうさん』を読んだことのある10代～50代の男女33名
調査期間	2026年2月2日～2026年2月3日 2026年2月27日 2026年3月27日 2026年4月24日 2026年5月29日 2026年6月26日 2026年7月31日 2026年8月28日 2026年9月25日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/hukusuusan/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『ふくしゅうさん』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	1人
20代女性	0人
30代男性	6人
30代女性	3人
40代男性	0人
40代女性	7人
50代男性	16人

50代女性	0人
-------	----

Q2:『ふくしゅうさん』の感想を教えてください。

ふくしゅうさん 1巻	予想以上に過激な内容でした。正への扱いも相当でしたけど、ここまでするとは想定外。正を苦しめるために、その姉までも標的にするとは驚きです。しかも、襲うのはもちろん、殺人にまで及ぶなんて信じられません。それも面白がっているのですから、外道過ぎますね。気になったのは、正に声を掛けてきた人物です。この時点では人かどうかもわかりません。しかし、タイミング的に都市伝説のふくしゅうさんである可能性は高いのではないのでしょうか。どのような復讐をしてくれるのか楽しみです。
ふくしゅうさん 1巻	典型的なクズというか、クズ通り越して人間じゃない奴らに犯罪と同等の事をされていて、主人公があまりにも悲惨でしたが、先生達も見て見ぬふりってことは、よっぽどあのグループ達が厄介で関わりたくない相手っぽいので、一筋縄ではいかなそう。今後ふくしゅうさんが、どうやって復讐してくれるのか楽しみだけれど、後ろから普通に現れたってことは、ふくしゅうさんは人間だったりするのかな？
ふくしゅうさん 1巻	その後の復讐がスカッと展開になるのは分かっていますが、やはり最初のシーンというのは心が痛くなってしまいますね。子供は天使なんていうのはまやかしかねない、よくここまでことができる。少しずつ心が死んでいく、更には姉も死んでしまっ。この世に神も仏もないのか。これは漫画ですが、実際にこういう目に合ってる子がいるんですよね。
ふくしゅうさん 1巻	親を亡くし姉と2人で暮らす正が、苦勞する姉を絶対に幸せにしたいと誓うも、同級生に姉が殺されたと知り、悪いことは必ず自身に返ってくるとふくしゅうさんに願いを掛けると、1人の男性が現れ返事をすると希望が持てました。たとえ、ふくしゅうさんと友だちになれば不審な死を遂げると言われても、唯一の肉親さえ失った正には、それよりも復讐することの方が大事だという気持ちが痛いほど伝わってきました。
ふくしゅうさん 2巻	兎山の父親が意外でした。兎山の金遣いの荒さからして、相当な親バカなのかと思っていたんですね。お小遣いの金額は多すぎるとは思いましたが、バイトでもしたらどうだと突き放す一面もあったとは想定外。育て方が悪いというより、兎山本人がどうしようもない奴なんだろうなって思いました。気になったのはラストシーンです。兎山は正の姉を殺しただけでなく、お金まで奪おうとして正を殴り倒していました。大切な友人が暴行を受けている場面を見て、ふくしゅうさんも感じるものがあつたのではないのでしょうか。兎山がどのように結末を迎えるのか、とても楽しみです。
ふくしゅうさん 2巻	1話の最後に現れたふくしゅうさん。でも無償でしてくれるわけではないんですね。ここでの報酬とはお友達契約。これが吉と出るのか凶となるのか。とりあえず、今のただこの暮らしから離れた領域へと進んだことは確かです。復讐のやり方がなんともグロくて、ただ殴るだけよりもむしろ心おられてしまいます。
ふくしゅうさん 2巻	怖いのはやはりひどいことをする子たち。彼らに人の心はないのでしょうか。まさかの保険金を当てにすると、子供とは思えない姿ですね。将来が心配です。そんな奴らに対峙するふくしゅうさん。正義の味方であるはずなのですが、この存在もまた不気味です。復讐が楽しいって、精神的に病んでいる。こんなのと友達になって、果たしてそれは良いことなのでしょうか。
ふくしゅうさん 2巻	1話が凄く胸糞展開で、読んでいて「早く復讐して！！」とうずうずしました。2話ではいよいよ謎のイケメン《ふくしゅうさん》との友達契約がスタートし、2話はこれから主人公・正とふくしゅうさんによる、今SNSでも騒がれているいじめへの復讐が本格的に始まるんだろうという準備回でした。悪い事は返ってくる。是非それを倍以上にして返してやってくれ！！と期待を抱かせるわくわく回でした。
ふくしゅうさん 3巻	ふくしゅうさんの手際の良さに驚きました。兎山を罠にハマしましたが、ふくしゅうさん自身は何ら犯罪を犯していないんですね。それっぽい雰囲気を出して、怪しいバイトの紹介をただけ。兎山が勝手にふくしゅうさんをそういう人だと思っただけなのですから。そのバイトに関しても、ふくしゅうさんは何もしていません。仮に警察の手がふくしゅうさんにのびたとしても、嘘をつくなど注意されるくらいのことでしょう。兎山は罠にかかりましたが、それは兎山の自業自得。どんなひ

	どい目に遭うのか、早く続きが見たいです。
ふくしゅうさん 3 巻	ただ殴られて終わりじゃないのがふくしゅうさんのやり方のえげつないところです。悪人で欲の皮が張る兎山だからこそ、さらなる地獄へといざなわれた。選んだのは自分自身です。だから怖い。うまい話なんてそうあるわけがないのに、もしかして自分だけ・きつこの話だけは当たり。そう思っ て突っ走っていく。現代の若者の中にもそうやって身を崩した人たちはたくさんいます。
ふくしゅうさん 3 巻	兎山の非道さが目立つシーンが多かったので早くふくしゅうさんにやられてしまえと思いつつ、どう なってしまうのかわからない緊張感も楽しめるエピソードでした。ふくしゅうさんは知能と計画性も 高いので、関係ないような行動に見えたとしても実は壮大な計画に繋がっていると思うとワクワク します。最後に不穏な終わり方を見せてきたので、次の巻ではさらにやばい展開を期待できそうで す。
ふくしゅうさん 4 巻	正の言う通りだなんて感じました。兎山は正や遥にあれほど酷いことをしたというのに、全く悪いと 思っていないんですね。伊野田たちにもきちんと報いを受けてほしいです。
ふくしゅうさん 4 巻	正義は勝つ、とかテレビ番組ではあるけれど現実にはそんなこともないんですね。懲らしめてめ でたしめでたしとも言いきれない。そもそも兎山は最後まで罪を認めようとはしないのです。だから こそあれだけの卑劣なことができたわけですね。結局は植物状態となって生き続ける。それは望 んだ姿なのでしょう。
ふくしゅうさん 4 巻	結局は最後まで自分の罪を認めず、植物人間となってしまった。こういう漫画でのスカッとを求め ているなら消化不良に終わっちゃうかもしれませんね。でもこれこそリアリティがあっていろ うと考えさせられます。そして、こんなことをしておきながら笑顔でブリクラをとっているふくしゅうさん の存在こそが最も恐ろしいのです。
ふくしゅうさん 5 巻	見事な逆転劇でした。あまりにも伊野田ペースで進んだため、ふくしゅうさんもヤバイのではと不安 を覚えたほどでした。しかし、すべてが計画通りだったんです。流石はふくしゅうさんといったところ でしょうか。ひどいことをするような人間には、それをされる苦しみや恐怖を味わわせるしかありま せん。ふくしゅうのやり方も伊野田にはピッタリだったと思いますし、スカッとしました。
ふくしゅうさん 5 巻	ふくしゅうさんがまさかの女装をしたり、なかなかインパクトの強いエピソードで面白かったです。そ して藤守は今までの作品に出てきた悪人の中でもトップクラスにヤバイやつなので、ふくしゅうさ んも徹底的にこらしめてやろうと思ったのではないのでしょうか。ただ藤森もなかなかのくせ者なの で、計画が上手くいくのかわからずにドキドキさせられました。
ふくしゅうさん 5 巻	復讐代行してくれるふくしゅうさん。まさかのこの巻では女装姿を披露してくれました。それにし ても、藤守が思った以上に下種でした。こんな奴が世の中で当たり前に暮らしているというのが怖 い。でも結局は悪意があるからこそ足元をすくわれて自分がやられる羽目になった。親も親なら子 も子。負の連鎖というのはどこから断ち切らなければ
ふくしゅうさん 6 巻	見事な復讐でした。てっきり藤守が襲われるだけで終わるかと思っていたんですけどね。それだけ に、この結末は想像以上でした。これまで藤守を庇ってくれた父親はもういません。いろんな罪が 明るみに出たとなれば、藤守が日の目を見ることはもうないでしょうね。残る伊野田が気になりま す。これまでの相手より異常さが際立っているだけでなく、ふくしゅうさんの存在に勘づいていま した。そんな伊野田に対し、ふくしゅうさんがどのような手を打つのか注目したいです。
ふくしゅうさん 6 巻	確かに、人生が終わるほどの復讐でしたが、もっと堕としきっても良かったのではないかと感じまし た。一人目が植物人間でし、ただ逮捕されるくらいではなく、もっとラブリの手で精神的にも 堕としてほしかったですね。性格がまるっと変わるくらいなら納得できたかも。
ふくしゅうさん 7 巻	まさかの展開です。ふくしゅうさんが、ここまで酷い状況に追い込まれていたとは思いません でした。ここまでの仕打ちを受けてしまっは、復讐どころか社会復帰すら難しいのではないかと感じ てしまいます。それだけに、ここまで非道なことをする伊野田には強い怒りを覚えました。一方で、 最後の展開も気になります。あの攻撃はどう見てもとどめに近いものでし、このまま命を落と してしまう可能性も否定できません。ふくしゅうさんがどうなるのか、注目したいです。

ふくしゅうさん 7巻	いろんな復讐系の漫画がありますが、復讐する側の人間がこうもあっさり捕まってしまうのはなかなか見ない展開ですね。おそらく、捕まったふくしゅうさんは偽物なのかなと思うのですが、その偽物をどうやって用意したのかはわかりません。ふくしゅうさんだと思って痛めつけていたのは、伊野田の部下だったという可能性もあります。かなりいいところで終わったので、次が気になる展開です。
ふくしゅうさん 8巻	最後の最後で救われる展開で本当に良かったです。7話ではどうなることかと思いいらハラしましたが、その分ホッとした気分になりました。今回の話で、ふくしゅうさんが喋れなくなっていた理由にも納得です。ここから伊野田がどのように追い詰められていくのかはかなり楽しみです。
ふくしゅうさん 8巻	ふくしゅうさんが亡くなるとは思っていなかったですが、とりあえず無事であることが分かって安心しました。まさか、レンと入れ替わっているとは思いませんでしたが、流石といったところでしょうか。伊野田が見せていた映像のふくしゅうさんはレンだったのでしょうか。喋れずに、正と友達ではないと否定していたので、おそらくそうなのでしょう。とうとう、次の9話は伊野田への復讐が始まりそうですね。
ふくしゅうさん 9巻	見事な復讐劇でした。まさかレイと入れ替わっていただけでなく、その先まで対応していたとは。電波妨害と証拠データなど、ここまで用意周到だったのは感心です。相手を調子付かせておいて、一気に落とすっていうやり口がよりスカッと感があっていいですね。
ふくしゅうさん 9巻	伊野田が口にしたせいぎちゃんのことを気にかかります。普段は飄々としているふくしゅうさんが、あそこまで露骨に反応を変えたのですから、相当深い因縁があるのは間違いないでしょう。今後、せいぎちゃんがどのように物語へ関わってくるのか注目したいです。
ふくしゅうさん 10巻	正の事件は解決しましたが、ふくしゅうさんとせいぎちゃんの関係はかなり気になりますね。今回の話を見る限り、二人の間に相当な因縁があることには間違いないでしょう。今後ただの復讐にとどまらずに、生死をかけた戦いになるんじゃないかなって思います。
ふくしゅうさん 10巻	まさか、正がこんな目に遭うなんて。次の話では、正とせいぎちゃんが接触する、もしくは一方的に命を奪われるところが描かれるのでしょうか。まさかの展開に驚いています。それとも、間違った情報なのでしょうか。とにかく、これまでで一番続きが気になる展開です。
ふくしゅうさん 11巻	理由はどうあれ、女子高生のしたことは許されないですね。今回はスマイリーが来てくれたので、大事にはなりませんでしたが、それでも正は意識を失ってしまう程の怪我をしています。また、もしスマイリーが来なければ、もっと酷いことになっていたでしょう。如何なる理由があるにせよ、他人を無実の罪で陥れることは許されざるべきことであり、猛省して欲しいと感じました。
ふくしゅうさん 11巻	痴漢を探すにしても、あまりにも冤罪すぎるし、やり方が無理矢理過ぎる。この正が冤罪になる流れって必要なかったのではないかと思います。なんだか1話分損をした気分。その前も正が死んだとか大げさなフリをしていましたが、ちょっと無理矢理過ぎる流れだと思いました。
ふくしゅうさん 12巻	律が受けた被害は、どうやら普通のものではなさそうですね。日記の内容から察するに、ただ身体を触っただけのように思えません。自殺までするぐらいですから、下手したら妊娠している可能性もあるのではと感じました。
ふくしゅうさん 12巻	北田が想像以上に手強そうだったことに驚きました。北田本人の戦闘力もそうですが、交友関係もかなりヤバそうです。伊野田たちはヤバかったとはいえ、学生でした。しかし今回は反社会的勢力が絡んでくる可能性が高く、復讐は難しそうだなって感じました。
ふくしゅうさん 13巻	凜がダメ過ぎました。以前もそうでしたが、感情に任せて行動しすぎですね。前回の失敗から何も学んでいないところが、非常に残念でした。
ふくしゅうさん 13巻	花田は罌を仕掛けてきましたけど、もし凜が暴走していなければ今回のような事態にはならなかったでしょう。それどころか、凜の失態によって正まで危険な目に遭うことになります。一番の敵は無能な味方という言葉がありますけど、それを痛感させられました。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス
